

科目名（担当教員）	ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ（加藤 悟）
テーマ	現代社会問題を科学するプロジェクト
履修条件	なし（自律的に行動できない人には、つらいゼミです。）
テキスト・参考文献	個別に指示します。

#### ◇ゼミ研究内容

身の回りの問題を調査し、自らの視点で捉えたのち、問題提起し、仮説を立案する。その後、独自の分析枠組みを構築した後、文献調査やフィールドワークから得られた独自の情報をその枠組みで分析し、新しい独自の提案や、新しい知見を得ることを目的とする。

日常から、身の回りのことから感性を研ぎ澄ませ、オリジナルな視点を持ち、自らの立てた仮説をもとに多他者に説明・説得できる提案力を高めるトレーニングを行います。

グループまたは個人で、課題（テーマ）を設定し、それに関する背景調査（観察）を行い、仮説を立て、検証のための調査分析を行い、プレゼンテーションを行うという一連の研究プロジェクト形式のゼミナールとなります。

#### ◇ゼミ運営方法（ゼミ修了時に求める学生の理解・達成度）

まずは研究プロジェクト遂行に必要な基礎体力をつけます。それは、大人としてのマナー、コミュニケーション、ブレインストーミング、文献調査、フィールドワーク技法、要約練習、資料整理法、データ分析法、プレゼンテーション技法、小論文作成です。これらは基礎ゼミナールでのトレーニングの発展版となります。

次に、グループまたは個人で、こちらが提示するミニ課題を選択し、ミニプロジェクトを遂行します。

2回生では、自らの課題を設定し、問題提起を行い、観察、仮説、調査、考察、提案（発表）の5要素を含むプロジェクトを実施します

#### ◇ゼミ運営計画

	運営内容・ゼミナール特別活動	参考文献・課題など
ゼミナールⅠ (1回生後期)	大人としてのマナー、コミュニケーション、ブレインストーミング、文献調査、聞き取り調査、要約練習、資料整理法、データ分析法、プレゼンテーション技法、小論文作成 ＜特別活動＞ コミュニケーション、学外見学、学外調査など 就職・進学にあたっての個別指導	ゼミナールで随時指示
ゼミナールⅡ (2回生前期)	提示するミニ課題についてのプロジェクト遂行 (個人やグループが関心のある分野のテーマを提示します。) (観察、仮説、調査、考察、提案（発表）の5要素を含むプロジェクトを実施) ＜特別活動＞ コミュニケーション、学外見学、学外調査など 就職・進学にあたっての個別指導	ゼミナールで随時指示
ゼミナールⅢ (2回生後期)	個人やグループが自ら設定する課題についてのプロジェクト遂行 (観察、仮説、調査、考察、提案（発表）の5要素を含むプロジェクトを実施) ゼミナール発表会の実施、卒業論文の作成 ＜特別活動＞ コミュニケーション、学外見学、学外調査など 就職・進学にあたっての個別指導	ゼミナールで随時指示

#### ◇その他コメント（自己紹介とゼミ生への要望など）

観察、仮説、調査、考察、提案（発表）の5要素の修得が目標ですので、テーマ（関心領域）は問いません。

基本的には、成果主義なので、ゼミ出席種だけでは単位を修得できません。注意してください。